

小学校第3学年 国語科学習指導案

学習指導者 さぬき市立さぬき北小学校 六車 文子

1 単元名 れいの書かれ方に気をつけて読み、それを生かして食べ物のひみつを紹介する文章を書こう

(教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」)

2 単元計画(総時数 12時間【本時4／12】)

○ 栄養士のクイズや単元のめあてから、付けたい力を共有し教材文について初発の感想を持つ。(1時間)

○ 文章の全体構成を把握し、自分が紹介文を書くために必要なれいの書かれ方の工夫を文章から見つける。(5時間)

○ 自分が見つけたれいの書かれ方を生かして文章を書き、その工夫を友だちと相互評価する。(6時間)

3 授業の見どころ

接続詞に着目して「中」の事例を並び替えることを通して、事例の順序には筆者の意図があることを理解することができる。また、事例と挿絵を対応させて読むことで、説明を補足する挿絵の効果にも触れることができる。

4 本時の学習指導

(1) 目標

「読むこと」において、目的を意識して中心となる語や文を見付け、「中」の例の順序には筆者の意図があることが理解できる。

(2) 学習指導過程

学習活動と児童の意識	教師の指導
1 学習課題を確認する。	○ 初発の感想等を振り返り、黒板にランダムに事例の写真を並べる。教科書の順との違いを示唆し、筆者がなぜその順序で説明しているのかを問いかけ、本時の課題につなぐ。
「中」を読み、れいの順序の工夫を見つけよう。	
2 「中」の5つの例を教科書に出てきた順に並び替える。 ・ 事例はどんな順で並んでいたかな。 ↓ ・ 「一番分かりやすいのは」「次に」文の初めの言葉が手がかりになりそうだよ。 ・ 1人でじっくり考えたいな、友だちと考えたいな。 ↓ ・ 文のはじめの言葉が手がかりになるよ。 「一番分かりやすいのは」「次に」この後はどうなるのかな。 ↓ ・ 写真を文章に合わせるとよく分かるよ。 ↓ ・ 工夫は「形がそのまま分かりやすい順」から並んでいるよ。	○ ③④⑤⑥⑦段落の1文目をそれぞれ短冊にし、ロイロノートに配信する。文章を読み、接続詞に着目できるように教科書は伏せておく。 ○ 学習の形態(1人から3人)を選べるようにし、主体的に課題に取り組めるようにする。 ○ 接続詞を手がかりに文脈を想像したり、教科書で確かめたいと希望したりする児童がいた場合には、大いに褒め、言葉や文章から読み取ろうとすることの大切さを伝える。 ○ 大豆の形や分かりやすさを見つける手がかりになるよう写真資料を短冊と合わせる。 ○ 完成した順序を一部入れ替え違和感を持たせることで、順序を工夫する大切さを再認識できるようにする。
3 学習のまとめをする。 ・ れいは「簡単なもの」から「難しいもの」へと順に説明すると分かりやすい文章になりそうだね。 ・ 順序を表すつなぎの言葉も使いたいね。 ・ 写真を付けると分かりやすいよ。	<評価> 接続詞やおいしく食べるための工夫の順序を見つけ、れいの書かれ方には書き手の意図があることを理解できたか。 (事例の並び替え、発表内容、振り返りノート)
4 本時の学びについて振り返る。 ・ 例の書かれ方について分かったことは・・・。 ・ 自分が使いたいつなぎの言葉は・・・。	○ 中の事例の順序について、今日自分が見つけたことを2つの観点で書けるよう書き出しを示し、続きを書くことで本時の学習のまとめと振り返りとする。